

2015年3月23日

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州ジャカレイ市

「ジャカレイ高齢者ホーム・マイクロバス整備計画」

に係る

草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る3月5日(木)「ジャカレイ高齢者ホーム・マイクロバス整備計画」に係るアカシア兄弟ホームへの我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を行いました。式典には当館福寫教輝総領事、アルマンド・フィオレンチーノ・グロ/アカシア兄弟ホーム理事長、エリオ・ニシモト/サンパウロ州議会議員、ハミルトン・リベイロ・モッタ/ジャカレイ市長、アルベルト・ウエダ/ジャカレイ日伯文化協会会長他約30名が出席しました。

会場:アカシア兄弟ホーム <Lar Fraternal da Acácia>

住所:Rua Cruzeiro, 43 Cidade Salvador - Jacareí - SP

電話番号:(12)3962-1994

(1) 案件の概要

1980年に設立された高齢者ホームには、現在51名の高齢者が入居し、医療的サポート等を行っています。高齢者ホーム入居者の通院等に関しては、これまで1台のヴァンを使用してきましたが、同車はシートベルトや安全機器の面で不十分であり、車椅子昇降機等も設置されていませんでした。昇降機が無い場合昇降の際は大変な労力を要し、また、固定装置が無い場合長距離の通院等には安全が確保されていない状況でした。

この度の協力では、車椅子昇降機及び固定装置付きマイクロバスの整備に対して134,830レアルを草の根・人間の安全保障無償資金協力として供与することにより、高齢者の通院環境等の改善に寄与致します。

(2) 来賓の挨拶:

アルベルト・ウエダ/ジャカレイ日伯文化協会会長

「この度の日本政府による資金協力は、アカシア兄弟ホームの関係者が日頃から高齢者の方々のことを考え、通院環境の改善に取り組んできた結果だと思う。日本政府の協力で地元日系社会を代表し感謝申し上げる。」と謝辞を述べました。

アルマンド・フィオレンチーノ・グロ理事長

「我がホームの車椅子使用者の日常生活を改善できることに感謝したい。日本は高齢者を大切に
する国と聞く。そのような国だからこそ我がホームの実情を分かっていたのだと思う。あらためて、日本政府へ感謝の気持ちを表したい。」と謝辞を述べました。

エリオ・ニシモト州議会議員

「アカシア兄弟ホームに支援を行った日本政府の行為には敬意を表する。また、団体を支援する
方々や、職員の皆様へも敬意を表したい。」と述べました。

福寫教輝総領事

「この度の我が国の協力によりアカシア兄弟ホームにマイクロバスが整備されることで、高齢者
の方々の快適で安全な生活の手助けとなることは我々にとって大きな喜びである。この協力を通じて
日本とブラジルの繋がりがより一層深まる機会になれば嬉しく思う。」と挨拶しました。

ハミルトン・リベイロ・モッタ市長

「アカシア兄弟ホームは高齢者のことを第一に考える素晴らしい施設である。この度の協力は、グロ
理事長及び各理事の方々が普段から入居者達のことを考え、生活の改善について努力された成
果だと思っている。支援してくれた日本政府に感謝する。」と述べました。

